

2024

NEC TODAY

株主のみなさまへ

2024年度中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)

証券コード 6701



株主のみなさまへ

取締役 代表執行役社長 兼 CEO

森田隆之



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

上期実績は増収増益*1、 2025中期経営計画の目標に向けて力強く前進

当社の当年度上期は、国内の堅調な市場環境のもと、ITサービス事業、社会インフラ事業ともに伸長しました。2024年3月に非連結化した日本航空電子工業(株)の影響を除くと、前年同期比で売上収益は3.5%の増収、Non-GAAP営業利益*2は252億円の増益となりました。また、Non-GAAP当期利益*2も増益となりました。

中間配当につきましては、期初の計画どおり1株につき前年同期比で10円増配の70円とさせていただきます。期末配当も1株につき70円を計画しており、これらを合計した年間配当は、前年度比で20円増配の140円を予定しております。

2024年度は、5年計画である2025中期経営計画の4年目となります。個々の事業において当初計画からの修正はあるものの、2025中期経営計画の目標に向けて全体として力強く進捗しています。

お客さまを未来へ導く価値創造モデル 「BluStellar」の立ち上げ

本年5月に発表した「BluStellar」は、ICT技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組む企業や行政のお客さまをリードしていくための新しい価値創造モデルです。これまでの当社自身の変革やお客さまのDXのお手伝いをする中で得た知見・経験を体系化することで、お客さまの課題に対して最適な提案をより迅速に行っていくための仕組みです。今後も、新たな知見・経験や最先端技術を取り込み「BluStellar」を進化させていくことで、社会価値創造企業としてより多くのお客さま、社会に貢献していきます。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

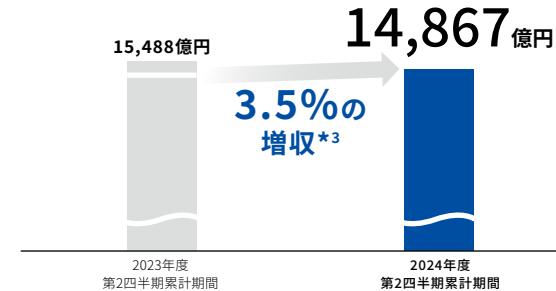
2024年11月

決算ハイライト

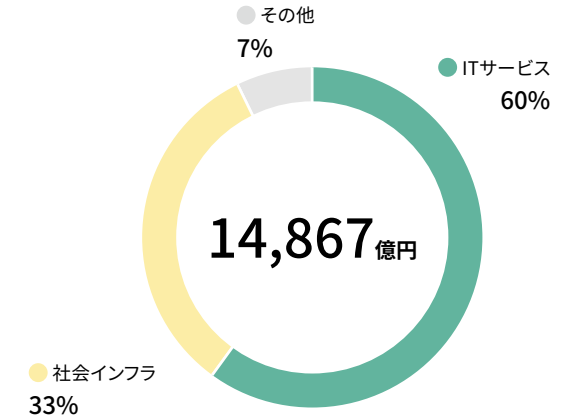
2024年度 第2四半期累計期間
(2024.4.1~2024.9.30)

売上収益

ITサービス事業、社会インフラ事業ともに増収

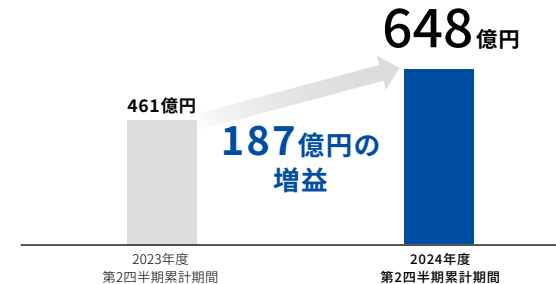


売上収益構成比



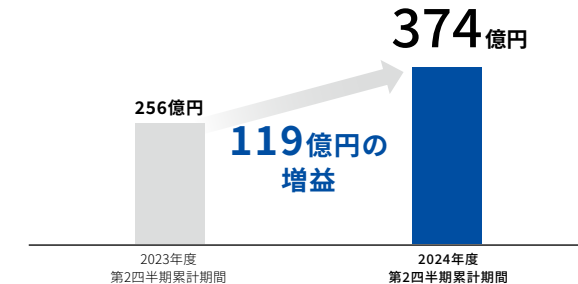
Non-GAAP営業利益*2

増収に伴う利益増と、ITサービス事業の収益性改善などにより、増益



Non-GAAP当期利益*2

Non-GAAP営業利益の増加により増益



*1 日本航空電子工業(株)非連結化の影響を除く

*2 Non-GAAP利益について

「Non-GAAP営業利益」は、営業利益から、買収により認識した無形資産の償却費およびM&A関連費用(ファイナンシャルアドバイザー費用等)、一過性損益である構造改革関連費用、減損損失、株式報酬およびその他一過性損益を控除した本源的な事業の業績を測る利益指標です。また、「Non-GAAP当期利益」は、親会社の所有者に帰属する当期利益から税引前当期利益に係る調整項目およびこれに係る税金相当・非支配持分相当を控除した、親会社所有者に帰属する本源的な事業の業績を測る利益指標です。

*3 日本航空電子工業(株)非連結化の影響を含めると-4.0%の減収

事業紹介

NECは、Purposeの実現に向けて「ITサービス」と「社会インフラ」の2つの領域を中心に事業を推進しています。

ITサービス

売上収益：

8,906 億円

調整後営業利益(率)：

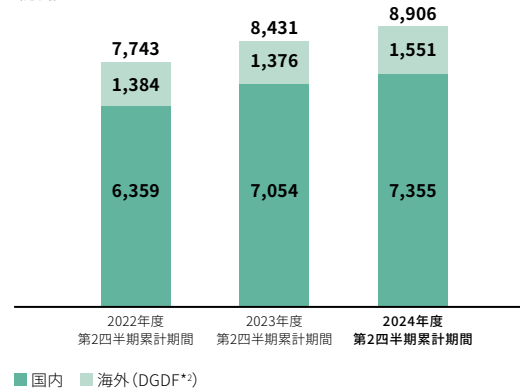
564 億円
(6.3%)

事業内容

国内・海外の大企業、中央官庁、地方自治体向けのITシステムに関わるサービス・販売等

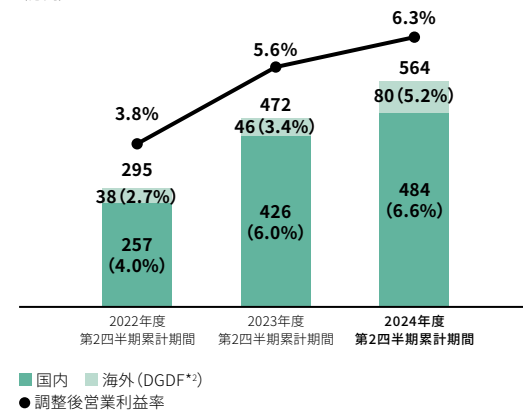
売上収益

(億円)



調整後営業利益*1(率)

(億円)



*1「調整後営業利益」は、営業利益から、買収により認識した無形資産の償却費およびM&A関連費用(ファイナンシャルアドバイザー費用等)を控除した利益指標です。

*2 Digital Government/Digital Finance

社会インフラ

売上収益：

4,853 億円

調整後営業利益(率)：

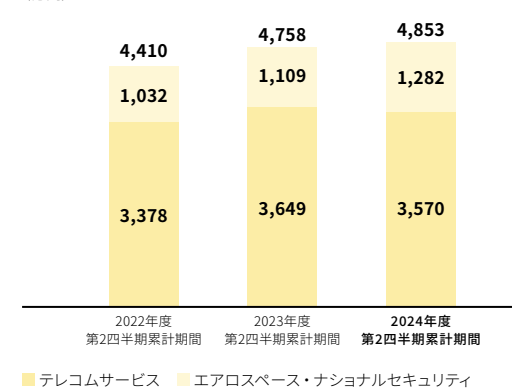
177 億円
(3.7%)

事業内容

通信キャリア向けネットワークインフラおよび中央省庁、宇宙事業者向けIT・通信システム全般

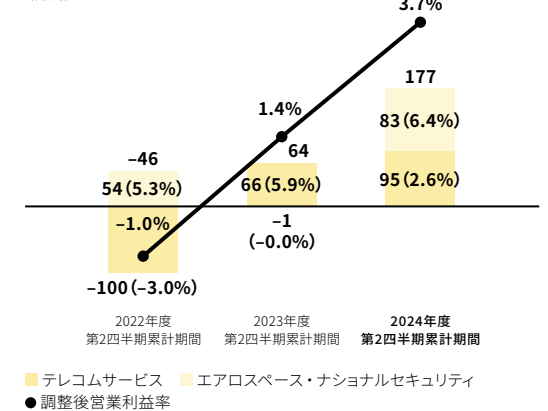
売上収益

(億円)



調整後営業利益*1(率)

(億円)



■ テレコムサービス ■ エアロスペース・ナショナルセキュリティ

■ テレコムサービス ■ エアロスペース・ナショナルセキュリティ

● 調整後営業利益率

上期の主な成果と取り組み

お客さまを未来へ導く価値創造モデル 「BluStellar(ブルーステラ)」を立ち上げ、DX事業を強化

NECは、2024年5月にお客さまを未来へ導く価値創造モデル「BluStellar」を発表しました。

テクノロジーの進歩によりビジネス環境が加速度的に変化している近年、企業・団体には業務の効率化や生産性の向上など、業務プロセスやサービス、さらには文化そのものを変革するDXが強く求められています。

NECは、従来から取り組んできたDXの取り組みをさらに強化し、これまでの知見と最先端のテクノロジーを集約した「BluStellar」によってお客さま・社会のDXに貢献していきます。

「BluStellar」を構成する要素の中で大きな可能性を秘めているものの1つが、世界トップクラスの日本語性能を強みとしている自社開発の生成AI「cotomi(コトミ)」です。現在、生成AIはビジネスの現場でどのように活用

していくか、というフェーズに入ってきています。例えば、NEC独自の音声認識技術と組み合わせたコンタクトセンター向けプラットフォームは、リアルタイムにお客さまとの通話内容を文字で表示し、生成AIを活用して会話内容の要約や回答の支援を行うことで、業務の高度化を実現します。

また、防災・減災の領域では、画像分析技術と生成AIを組み合わせ、被災現場の画像から即時かつ確に被災状況・場所を把握する技術を開発しました。この技術を活用した実証実験を2024年11月より茨城県つくば市で行う予定です。

NECは、「BluStellar」を柱に、社会価値創造をリードするValue Driverとしてお客さまとともに社会課題と経営課題を解決へ導きます。



「BluStellar」についてはこちら



大阪・関西万博の店舗決済と入場管理に顔認証システムを導入

NECは、2025年4月から10月に大阪府夢洲で開催される大阪・関西万博に顔認証システムを提供し、顔認証を活用した店舗決済と入場管理を導入予定です。店舗決済では、大阪・関西万博の独自の電子マネーであるEXPO2025デジタルウォレットの「ミyakペ!」と連携することで、万博会場内の店舗で手ぶらで決済することが可能になります。入場管理では、複数回入場可能な通期パス・夏パス購入者を対象に、会場入り口でQRコードをかざした後に顔認証による追加確認を行うことで、なりすましの防止を実現します。**顔認証を活用することで、利用者の利便性向上と、安全・安心で効率的な万博運営を実現します。**

NECの顔認証技術は、米国国立標準技術研究所(NIST)が主催するベンチマークテストで世界第1位の

評価を複数回獲得しており、これまで世界50以上の国と地域で顔認証事業を展開してきました。インドにおける国民IDシステムなど**国家レベルでのセキュリティのほか、企業での端末ログオンや入場管理、決済、おもてなしなど、さまざまな用途で使われています。**世界の空港における導入数はのべ80を超え、出入国管理や税関申告、搭乗手続きなど、顔認証技術の代表的なユースケースとして広がっています。

NECは、顔認証をはじめとした先進技術を活用することで安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。



日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号 (03) 3454-1111

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 750,000,000株
発行済株式の総数 272,849,863株
株主数 122,914名

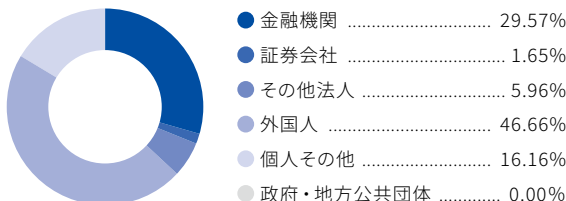
大株主(上位10名)	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	43,959	16.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	21,198	7.94
日本電信電話株式会社	13,023	4.88
ジェービー モルガン チェース バンク 385632	9,831	3.68
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	7,375	2.76
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティアー 505234	5,917	2.22
住友生命保険相互会社	5,600	2.10
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505025	4,323	1.62
GOVERNMENT OF NORWAY	4,055	1.52
ジェービー モルガン チェース バンク 385781	3,633	1.36

* 当社は自己株式5,940,916株を保有していますが、上記大株主から除外しています。

* 持株比率は、自己株式(5,940,916株)を控除して計算しています。

* 千株未満を切り捨てています。

所有者別状況



株主・投資家情報につきましては、
以下のウェブサイトもご参照ください。

株主・投資家情報 (IR) <https://jpn.nec.com/ir>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031
(ウェブサイトアドレス)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

公告方法

電子公告(当社ウェブサイトへの掲載)とします。ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
(公告用ウェブサイトアドレス) <https://jpn.nec.com/ir>

【株式事務に関するお問い合わせ】

住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお手続きにつきましては、お取引されている証券会社にお問い合わせください。証券会社とお取引のない場合は、上記の三井住友信託銀行株式会社の電話照会先にお問い合わせください。

なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記の「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

- ・本報告書に記載されている億円単位の業績数値は、億円未満を四捨五入して表示しています。
- ・本報告書に記載されている計画および戦略は、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要素により、これらと大きく異なる結果となる場合があります。
- ・NECは、日本電気株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。その他すべての名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。